

ボツワナ共和国月報(2021年6月)

主な出来事

【内政】

●COVID-19関連政府措置(5日、南アフリカとの国境にあるトロッケン、ラマトラバマ及びパイオニア国境検問所の閉鎖(6日に再開)、28日、アルコールの販売等を禁止)

【外政】

●キエンゲ・コンゴ(民)首相の当地訪問

●マシシ大統領のタンザニア実務訪問

【SADC】

●SADC人道緊急オペレーションセンター(SHOC)の開所

●SADC臨時首脳会合の開催

【内政】

○ボツワナ政府措置

(1)5日、ボツワナ政府は、同日から南アフリカとの国境にあるトロッケン、ラマトラバマ及びパイオニア国境検問所が追って通知があるまで閉鎖されると発表した。なお、この閉鎖は、南アフリカ側でのCOVID-19感染者増を踏まえたもの。(6日に再開)

(2)28日夜、ボツワナ政府は、アルコール飲料の販売及び公共の場所における消費を、追って通知するまで禁止すると発表した。

【外政】

○キエンゲ・コンゴ(民)首相の当地訪問

9日、ジャン・ミッシェル・キエンゲ・コンゴ(民)首相はボツワナを訪問し、マシシ大統領とボツワナ及びコンゴ(民)が共に候補者を擁立している次期SADC事務局長選挙等について会談を行った。

○マシシ大統領のタンザニア実務訪問

10日、マシシ大統領は、タンザニアを実務訪問した。本訪問の目的は、防衛、観光、食料生産、教育等の分野における協力を通じ二国間関係を強化し、SADC事務局長選挙に立候補しているマホシ氏への支援を求めることであった。

【SADC】

○SADC人道緊急オペレーションセンター(SHOC)の開所

21日、モザンビーク・ナカラにてSADC人道緊急オペレーションセンター(SHOC)の開所式が開催された。同センターは、緊急事態への備えと時宜に適った地域対応及び人道支援を実現するためのもの。

○SADC臨時首脳会合の開催

SADCは23日、SADC臨時首脳会合をモザンビークにて開催し、カーボデルガード州のテロリズム及び暴力的過激主義との戦いにおけるモザンビークを支援するため、SADCスタンバイフォースのマンデートを承認。